

第11回 (9/19号)

水稻病虫害発生予察の結果について

① 生育状況

生育状況は概ね平年並みの生育で、順調に進んでいます。どの地区も籾の中身が固まり固くなる固熟期に入っていました。長岡の小坂・天野地区、大仁の神島・白山堂地区は籾が色付き始める黄熟期に入っている圃場も見られました。

② 病虫害状況

どの圃場でもウンカ類やヨコバイ類の害虫を含む病虫害の発生はほとんど確認出来ず、秋ウンカの発生もありませんでした。

また、今回の調査では管内全体で紋枯病の発生が確認できました。病状がひどくなると枯れこみ収量低下につながります。発病株から落下した菌核が翌年の発生源となります。ご自身の圃場を確認していただき、発生がみられる場合には、薬剤散布による被害拡大防止を検討してください。また、来作の対策として、箱処理剤の施用、出穂1週間前～出穂期の薬剤散布を検討してください。



↑ 紋枯病発病株



↑ 紋枯病により枯れた籾

※商品の値段は全て税込表示です。

殺虫剤

○トレボン粉剤DL 3~4kg/10a 1,330円/1袋 (3kg)

時 期：収穫7日前まで

備 考：ウンカ類、ヨコバイ類、イナゴ類、カメムシ類

秋ウンカに対して散布する場合は、株元に掛かるように行う。

殺虫殺菌剤

○ビームバシボン粉剤DL 3~4kg/10a 2,530円/1袋 (3kg)

時 期：収穫14日前まで ※使用時期にご注意ください

備 考：ウンカ類、イナゴ類、いもち病、紋枯れ病

問い合わせ：韮山営農経済センター 勝又 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。